



平成 25 年 11 月 13 日

各 位

株 式 会 社 U B I C
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
(コード番号：2158 東証マザーズ)
(NASDAQ ティッカーシンボル：UBIC)
問 合 せ 先： 執 行 役 員 管 理 本 部 長
石 井 静 太 郎
T E L 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

平成26年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 11 月 13 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）
(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 5 月 15 日発表)	5,500 ～6,000	1,050 ～1,240	970 ～1,130	570 ～670	178 円 51 銭 ～209 円 83 銭
今回修正予想 (B)	4,400 ～4,800	△255 ～100	△360 ～0	△275 ～△50	△81 円 58 銭 △14 円 83 銭
増 減 額 (B - A)	△1,100 ～△1,200	△1,305 ～△1,140	△1,330 ～△1,130	△845 ～△720	△260 円 09 銭 ～△224 円 66 銭
増 減 率 (%)	△20.0 ～△20.0	△124.3 ～△91.9	△137.1 ～△100.0	△148.2 ～△107.5	△145.7 ～△107.1
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	4,679	920	872	500	158 円 45 銭

2. 平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月15日発表)	3,680 ～3,940	600 ～650	360 ～390	104円55銭 ～113円23銭
今回修正予想(B)	2,745 ～3,025	△355 ～△100	△230 ～△80	△68円23銭 ～△23円73銭
増減額(B-A)	△935 ～△915	△955 ～△750	△590 ～△470	△172円78銭 ～△136円96銭
増減率(%)	△25.4 ～△23.2	△159.2 ～△115.4	△163.9 ～△120.5	△165.3 ～△121.0
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	3,642	802	484	153円24銭

(注) 1株当たり当期純利益の予想数値については、平成26年3月期第2四半期期中平均株式数に基づいて算出しております。

3. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)において、主力であるeディスカバリ事業では売上高が1,888,828千円と前年同四半期比で14.7%減少したものの、韓国企業からの売上は前年同四半期と比べて大幅に伸びており、リーガル/コンプライアンスプロフェッショナルサービス事業の売上高は183,553千円と前年同四半期比で28.6%増加しました。

しかし、平成26年3月期通期見直しにつきましては、8月の米国ナスダック上場セレモニー以降における業界紙やメディアを通じてのブランディングの効果は徐々に浸透しつつあるものの、カルテル案件や知財案件のディスカバリ作業開始時期が見込み時期より先送りとなっており、和解等によって案件自体が消滅したこと及び大型の新規案件が獲得できていないことから、主力であるeディスカバリ事業の通期売上高予想について下方修正せざるを得なくなり、前回発表の数値から売上高及び利益の下方修正を致します。

営業損益に関しましては、当第2四半期のeディスカバリ事業の減収の影響を受けて、相当なコストダウンを実施する予定であります。成長エンジンであるPredictive Codingを使ったTAR (Technology Assisted Review) の源泉である「Lit i View」(リット・アイ・ビュー、自社開発の電子証拠開示支援システム)を継続的に機能強化するとともに、データセンター設備の増強及び計画的な人材採用によって大型案件の継続受注に対応するための体制作りを今後とも推し進める予定ですので、前回発表の予想を大幅に下回る予測と致しました。

経常損益、純損益に関しましても、円安による為替差益が発生したものの一時的な支出として米国ナスダック上場関連費用等による費用の増加により、前回予想を下回る予測となります。

4. 配当予想修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成25年5月15日発表)	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 50 00	円 銭 50 00
今回修正予想			—	0 00	0 00
当期実績	—	0 00			
前期実績 (平成25年3月期)	—	0 00	—	50 00	50 00

当社の配当に関する基本方針は、「業績、配当性向等を総合的に勘案した上で安定した配当を継続する」こととしております。同基本方針に照らし、今回の通期連結業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ながら、「配当を見送り」の見込みとさせていただきます。

早期の業績回復に向けて、全社挙げてなお一層の経営努力を積み重ねてまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記業績予想は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

以 上